

くずし字辞典の開き方

△△っ この字は・・・

梅

部首が分かる
場合

くずし字用例辞典（厚い方）

- ① 最初のページに漢字部首索引がある
木へんは492ページだ
- ② 画数順に並んでいる
似ている字はないだろうか
- ③ 発見！「梅」だ
- ④ 関連用語も載っている
次の字のヒントになるかもしれない

𠄎

なにながにやらの
場合

くずし字解説辞典（薄い方）

- ① 筆の入り方をよく見る
斜めだ
- ② 索引で探す
斜めの次は横棒、次に縦・・・
- ③ 一番近いのは97ページだ
- ④ 最後の点が特徴的だな
似ている字はないだろうか
- ⑤ 発見！「竹」だ

𠄎

ひょっとすると松？
見当がつく場合

どちらの辞典でも

- ① 巻末に音訓索引がある
- ② 「まつ」で探す
- ③ 発見！やはり「松」だった

くずし字用例辞典（厚い方）の特徴

- ・字例が多い。似ている字がきつとあるはず
- ・用例が付いている。地名や役職名など独特の用いられ方もカバー
- ・「扁旁冠脚のくずし方」という、部首ごとのくずしのバリエーションを集めている付録あり。部首が分からなくても、ここで探して再挑戦
- ・「ひらがな」のページも後ろの方にある

くずし字用例辞典 普及版
編者 児玉幸多 / 発行所 株式会社東京堂出版
ISBN 978-4-490-10333-5

くずし字解説辞典（薄い方）の特徴

- ・筆の運びをつかめたら調べられる
- ・画数順ではなく「縦点」「横点」「斜め棒」「縦棒」「横棒」の順に並んでいる
- ・二画目以降もそれにならう
- ・付録として「カタカナ」「ひらがな・変体がな」、独特のくずし方をする字を集めた「扁旁くずし基準」がある
- ・287ページ以降には似た形の字を集めた一覧があるので、活用すると便利

くずし字解説辞典 普及版
編者 児玉幸多 / 発行所 株式会社東京堂出版
ISBN 4-490-10331-X

その他 役立てたい辞典

- ・異体字解説辞典は、異体字、つまり現在の常用漢字と意味や読みが同じだが、形が異なる文字を調べるもの。例えば「烟」と「煙」。烟草だと分からなくても煙草なら意味が取れる
- ・古文書用字用語大辞典は、文書の中に登場する専門用語を調べる時に使う。たとえば「口米」と出てくれば年貢関係の文書だな、と検討がつけられる
- ・国史大辞典は、歴史百科事典で、史料・地名・人名・事項を網羅している。古文書を通して歴史的背景を学ぶときなどに使う
- ・地名辞典・漢字辞典・広辞苑なども役立つ

おしらせ ～もっとくずし字を学びたい方へ～

文書館では毎年6・7月ごろに古文書解説講座（入門編・応用編）を開催しています。また、その過去のテキストを文書館カウンターにて随時販売（一冊300円）しております。

初心者向けのまとまった内容で体系的に学べますので、ぜひご利用ください。

令和3年度の古文書
解説講座（入門編）は
中止になりました

調べた字は、くずし字・活字あわせてすみにメモしておこう。
見比べれば違いが見えてくるはず。